

愛媛県におけるアライグマの生息調査

畑中満政 長尾文尊 山中省子 山中悟(愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター)
好岡江里子(愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課)

1. はじめに

特定外来生物のアライグマ (*Procyon lotor*)は、全国的に分布を拡大しており、四国地域でも香川県、徳島県を中心に生息域を拡大し、農作物への被害や住居等への侵入被害が問題となっている。

愛媛県では、2006年に松山市で2頭のアライグマが確認(うち1頭捕獲)された後、2009年以降には県東部(東予地域)を中心に目撃あるいは捕獲事例が見られるようになった。

そのため、2012年10月にパンフレット「アライグマ情報求む！」を10,000部作成し、県民からの目撃情報を募るとともに、生息調査を開始した。

2. 調査方法

(1) 聞き取り調査

情報提供者に対し、アライグマを目撃した日、場所、目撃内容(特徴、被害等)などを聞き取り、生息している可能性の高い地域を選定する。

(2) 生息調査

生息の可能性の高い地域において、餌トラップや赤外線カメラを10～15日程度設置し、生息の有無を確認する。

(3) 捕獲

トラップ等により生息が確認された地域において捕獲用おりを設置し、捕獲する。

3. 結果

(1) 情報提供の状況

情報提供の件数は、2012年10月～2013年9月の1年間で23件あり、目撃時期は、2012年9月までが11件、2012年10月～2013年3月が8件、2013年4月以降が4件であった。

地域別では、県東部(東予)12件、中部(中予)9件、南部(南予)2件で、県下20市町のうち9市町に及んでいる。

(2) 確認・捕獲の状況

2013年3月に西条市及び四国中央市で新たにアライグマを確認し、西条市については、市と連携して捕獲わなを設置した結果、同年4月に1頭のオス※を捕獲し、殺処分を行った。

表 愛媛県内のアライグマの目撃情報と対応状況一覧(2012年10月～2013年9月)

No.	目撃情報			対応状況		備考	
	情報提供年月	目撃時期	市町名	場所	餌トラップ・カメラ		確認の有無
1	2012年10月	毎日出没	西予市	牛舎及び周辺	餌トラップ・カメラ	無(♀キを確認)	
2	2012年10月	3年前	伊予市	水路	餌トラップ・カメラ	無(♀キ、キツネを確認)	
3	2012年10月	2012年の春	西予市	川	餌トラップ・カメラ	無(♀キ、ネズミを確認)	
4	2012年10月	2年前	今治市	道路	餌トラップ・カメラ	無	
5	2012年10月	以前の情報	久万高原町	施設	カメラ	無	町が対応
6	2012年10月	以前の情報	四国中央市	果樹園	餌トラップ・カメラ	無(♀キ、ハクシンを確認)	
7	2012年10月	2年前と2012年6月	今治市				
8	2012年10月、11月	以前と2012年11月	新居浜市	道路	餌トラップ・カメラ	無	
9	2012年12月	2012年8月	松山市	山林	餌トラップ・カメラ	無	
10	2013年2月	2012年8月	松山市	水路			
11	2013年2月	2013年2月～現在	松山市	民家(天井)	餌トラップ・カメラ	無(ハクシンを確認)	
12	2013年3月	2013年3月～現在	西条市	神社	餌トラップ・カメラ	有(アライグマ)、箱わな設置	4/9オス1頭捕獲
13	2013年3月	2009年12月～2010年1月	松山市	墓地			
14	2013年4月	2013年3月	伊予市	寺	餌トラップ	無	
15	2013年4月	2012年の夏	西条市	畑			
16	2013年4月	2013年3月	西条市	公園	餌トラップ	無	市が対応
17	2013年4月	2013年4月	西条市	道路			
18	2013年4月	2013年3月	伊予市	墓地			
19	2013年4月	2013年3月	四国中央市	寺(天井)	餌トラップ	無	目撃者がアライグマを撮影
20	2013年6月	2012年12月～2013年1月	今治市	河原			
21	2013年7月	2013年7月	今治市	道端			
22	2013年8月	2013年6月	新居浜市	河原			他のセンサーカメラでアライグマを撮影
23	2013年9月	2013年8月	東温市	キジ飼育舎	餌トラップ・カメラ	無	キジの被害



赤外線カメラによるアライグマの確認



餌トラップの状況



捕獲したアライグマのオス(2013年4月)

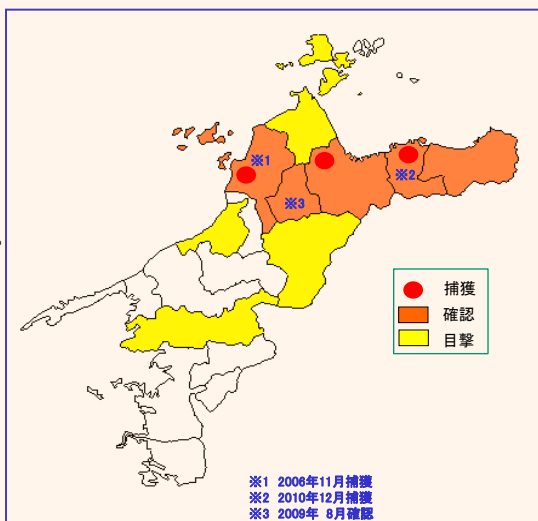


図 愛媛県内におけるアライグマの目撃・確認・捕獲状況

4. まとめ

- アライグマに関する情報提供は、2012年10月からの1年間で9市町23件となり、新たに2市町で生息を確認した。
- アライグマの確認・捕獲地区は県東部から中部が大半を占め、生息域も徐々に拡大している。
- アライグマを確認した地区において捕獲わなを設置した結果、1頭のオスを捕獲し、殺処分を行った。

※ 性別の判定は、愛媛哺乳類研究会による。

5. 今後の課題

- パンフレット等による県民への情報提供の推進
- 関係機関と連携したアライグマの生息状況の把握
- 外来生物法に基づく防除計画の策定等、適切な対策の実施による生息並びに被害の拡大防止の徹底

アライグマ情報求む!

アライグマは、ペットが野生化し定着したもので、特定外来生物に指定されており、県内で必ずどこに四国中央市(旧伊予市)・新居浜市(旧伊予市)・東温市(旧伊予市)で捕獲生息が確認されています。正式な被害報告は県内ではまだありませんが、香川県等近隣県では生活環境、農林水産部へ大きな被害を発生開始化しており、本県においても、早急な対応が求められています。

特徴

- 首周りに黒い縞、目の周りにマスク模様がある
- 髪は白く、耳は大きく白い縁取り
- 全体的に白っぽく、特に足は白い部分が多い
- 足跡は5本の指がはっきりと分かれている
- 尾は長く(30cm程度)、リング状の縞模様
- 神社仏閣等の屋敷裏・草中を隠れに利用することも

アライグマをよく似た野生生物

アライグマ アナグマ タヌキ

目のある作物を好み、主に収穫前に食害します

アライグマの生息

生息地: トウモロコシ、スイカ、メロン、モモ、マクワウリ、ブドウ、イチゴ etc

県では、アライグマの情報を求めています。情報・目撃・被害等の情報がありましたら、ご連絡ください。

生物多様性センター TEL 089-931-8757